太りやすさリスク

総合結果

あなたの太りやすさリスク倍率：※※倍

※太りやすさのリスクが最小である「※※※※回以下／※※※あり／※※※※時間未満／※※※分以上／遺伝的リスク※※」のケースを1.0倍としています

※本検査結果は太りやすさのリスクが無いことを保証するものではなく、1.0倍でも太りやすさのリスクは存在します

遺伝的リスク倍率：通常のXX倍

SNP ID	遺伝子名	染色体番号	アレル	あなたの遺伝子型	リスク倍率
rs4409766	BORCS7-ASMT, BORCS7	10	C/T	CT	※※
rs11030100	BDNF-AS, BDNF	11	G/A	GA	※※
rs11642015	FTO	16	T/C	TC	※※

【解説】

●rs4409766は、細胞内で栄養などの成分の分解機能（リソソーム）に関係していると思われる分子BORCS7の遺伝子にあります。あなたの遺伝子タイプでは、太りやすさのリスクが最小の遺伝子タイプの人に比べて、リスクが※※倍になると報告されています。

●rs11030100は、脳の神経細胞の増殖や、摂食衝動の調節に関係している分子BDNFの遺伝子にあります。あなたの遺伝子タイプでは、太りやすさのリスクが最小の遺伝子タイプの人に比べて、リスクが※※倍になると報告されています。

●rs11642015は、脂肪細胞のエネルギー代謝に関係している分子FTOの遺伝子にあります あなたの遺伝子タイプでは、太りやすさのリスクが最小の遺伝子タイプの人に比べて、リスクが※※倍になると報告されています。

その他要因によるリスク倍率：※※倍(2)

●朝食習慣（なし）：※※倍

●外食の頻度（週3回以上）：※※倍

●※※※※※※/日（2時間以上）：※※倍

●※※※※/週（150分以上）：※※倍

【解説】

●食べたものを体内でエネルギーに変換する効率は、いつも一律ではなく、体内時計によって24時間周期で変化しています。朝食はこの体内リズムを整えるのに重要な役割をはたしていることから、朝食を採らないと体内時計が乱れてしまい、エネルギーをあまり消費しなくなってしまい、肥満のリスクが上がると考えられています。

●精製されて食物繊維の少ない※※※※※※